

さんとめのコナラのベンチ

○ 循環型農業で欠かせない三富平地林

数年前から、カシノナガキクイムシが病原菌を媒介することで、平地林のどんぐりのなる木・コナラが枯れるナラ枯れが広まり深刻な状況にあります。

ナラ枯れを防ぐには、カシノナガキクイムシが好む大径木を伐採し、若い林に戻すことです。

私たちは、伐採された木々を有効活用するため、ベンチを作りました。

このベンチが使われることで、ナラ枯れが広がることを防ぎ、林が若返ることを目指しています。



さんとめのコナラのベンチは、カシノナガキクイムシに穿孔されたコナラを有効活用する事を目的としています。

座面に使う部分にコナラの角材を使い、半年から数年使用後新しいコナラ材と入れ替えます。

お役御免となったコナラの角材は木製品になるものと災害用備蓄薪に選別され再利用されます。

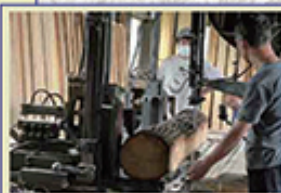


積み重ねてある程度の乾燥をさせます。



製材が終わったコナラ

木の中にあるカシノナガキクイムシは適切な時期に伐採及び製材乾燥させることでほぼ死滅させることができます。



コナラの製材もメンバーが手伝います。



製材所に集められたコナラ



製材所まで搬送



カシノナガキクイムシの穿孔されたコナラが枯れる前に伐採



伐採したコナラを必要な長さに切断

「さんとめのコナラのベンチ」は西川パワム合同会社（埼玉県越前市）発案の「はしらベンチ」を参考に許諾を得て製作・設置をしています

さんとめのコナラベンチが出来るまで



製材して数ヶ月
自然乾燥させたコナラ材を製材



さんとめの木をいかす会メンバー
で共同制作



コナラは座面の角材
脚部分は、西川ヒノキ材を防腐処理



川越農林振興センター主催
三富シンポジウム初披露



2023年さんとめの木をいかす展 展示
寸法 1500 mm (W) × 600 (D) × 450 (H)

公共機関のベンチとして
活用を目的としています。
サブスクリプションと購入
両方のチャンネルで運用を検討中

